

The Wind of Asia アジアの風

世界中で演奏してきた新田昌弘と嵯峨治彦。異分野とのコラボレーションや即興的セッションで巧みな技を作り上げてきた二人だからこそ出来る音楽。
伝統と革新の音楽が、いまシルクロードを渡り、日本でのスペシャルコラボレーションを実現!!
民族音楽コンサート「アジアの風」。あなたを東亜の旅にお連れします。

津軽三味線って どんな楽器?

日本で一番!?歴史が新しい伝統楽器

歴史は150年程度と言われ、日本の伝統楽器の中で一番新しい楽器となります。青森県で生まれて、時間が短い中で急激に進化した【超速弾き】や弦を叩く【バチ叩き】などが魅力的な表現力の部分です。また弦楽器と打楽器を合わせた【打弦楽器】という世界でも希少な特徴を持つ楽器でもあります。伝統だけではなく近年では様々な音楽のジャンルにも使用されており今なお進化している伝統楽器の一つです。

馬頭琴って どんな楽器?

古くからモンゴルに伝わる 遊牧民の伝統楽器

モンゴル語で「モリンホール(morin khuur)」と言い、直訳は「馬の楽器」。弦も弓も馬のしっぽから作られるモンゴルの遊牧文化を代表する楽器です。日本では絵本「スーホの白い馬」でその名を知られています。馬頭琴は2003年にユネスコ無形文化遺産に認定されています。動物の鳴き声や風の音などモンゴルの大自然が生み出すさまざまな音色を表現できるのがその最大の魅力です。

津軽三味線

新田 昌弘 *Nitta masahiro*

14歳から津軽三味線を始め、その後3年連続全国大会で連覇を果たす。海外公演では世界20各国で公演を行い、サウジアラビアでは国王主催の「ジャナドリア祭」に招待され演奏。小沢征爾氏が芸術監督をする「JapanNYC」inカーネギーホールでフルコンサートを実現。2015年「嵐/ARASHI LIVE TOUR 2015 Japonism」札幌ドーム公演に三味線隊の一員として参加。日本の学校での指導やペンシルバニア大学からの要請で1ヶ月間アメリカで講師を務めるなど、伝統継承とともに革新的な新しいサウンドを生み出し続けている。

馬頭琴・喉歌(ホーミー)奏者

Saga Haruhiko 嵯峨 治彦

伝統と革新の間を柔軟に行き来しながら幅広い演奏活動続ける馬頭琴・喉歌奏者。近年の舞台芸術化されたモンゴル音楽のみならず、元々の遊牧生活における音楽のあり方や古いスタイルの馬頭琴の奏法も学び、2001年、ゴビ砂漠の遊牧民馬頭琴奏者Y.ネルグイ(モンゴル国人間文化財)から後継指名を受ける。モンゴル伝統曲の演奏のみならず、松任谷由実のレコーディングにも参加するなどポップス、クラシック、邦楽、舞踊といった異分野とのコラボレーションをするなど幅広い活動をしている。

演奏曲目

カルダク・ハマル峠 / 私の青空マクタール / 黒石よされ / 津軽じょんから節
ドンシャン・ポルカ・グーゲー / 西方風 / 東の道 / 十三の砂山
天の風 / オヨーダイ
などなど



お気軽に
お問い合わせ下さい

有限会社 Ezo'n music

〒007-0806 札幌市東区東苗穂6条1丁目15-20

TEL: 011-788-7200 E-mail: office@ezon-music.com



Ezon music 検索